

償還交付運用報告書

アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型） 通貨セレクト・プレミアムコース 〈愛称〉 アジハイ・トリプルストラテジー

追加型投信／海外／債券
繰上償還

作成対象期間（2016年8月11日～2017年1月27日）

第18期（決算日 2016年9月12日） 第19期（決算日 2016年10月11日）
第20期（決算日 2016年11月10日） 第21期（決算日 2016年12月12日）
第22期（決算日 2017年1月10日） 最終期（償還日 2017年1月27日）

受益者のみなさまへ

償還時（2017年1月27日）	
償還価額	10,024円71銭
純資産総額	131百万円
第18期～最終期 （2016年8月11日～2017年1月27日）	
騰落率※	5.6%
期中分配金合計	0円

※騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型）通貨セレクト・プレミアムコース」は、信託約款の規定に基づき、2017年1月27日をもちまして繰上償還いたしました。

当ファンドは、日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とします。為替取引によるプレミアム収入（金利差相当分の収益）およびオプションのプレミアム収入の獲得を目指すことにより、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも当社商品につき引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

〈運用報告書（全体版）の閲覧方法〉

右記URLにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

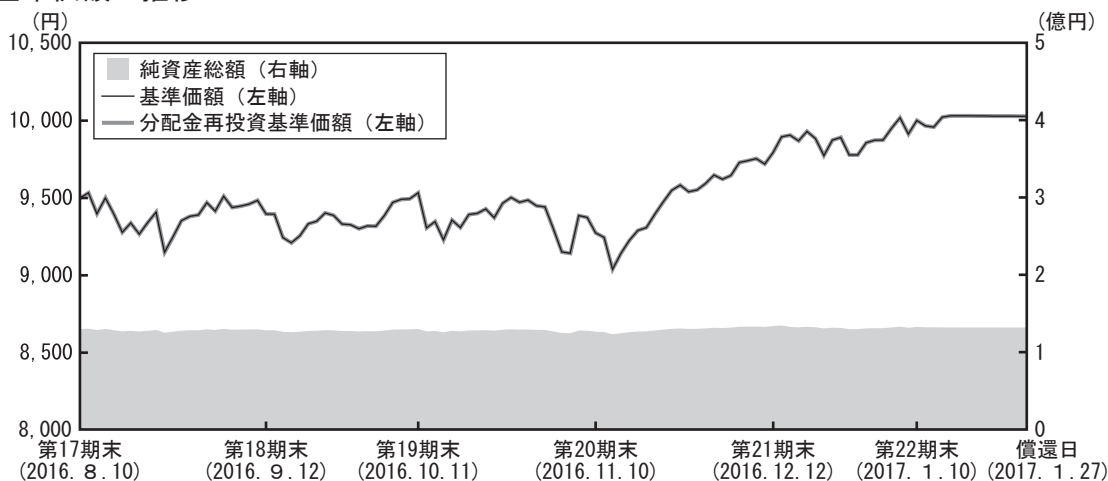
お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

運用経過

■ 基準価額の推移



第18期首：9,496円

償還時：10,024円71銭（期中分配金合計0円）

騰落率：5.6%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2016年8月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、ライオン アジア・ハイ・イールド・債券・ファンド（クラス6）への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「ライオンアジア・ハイ・イールド・債券・ファンド（クラス6）」は、主に債券部分がプラスに寄与し、基準価額の騰落率はプラスとなりました。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第18期～最終期		項目の概要
	(2016年8月11日～2017年1月27日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	44円	0.460%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,584円です。
(投信会社)	(17)	(0.175)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(26)	(0.270)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	44	0.460	

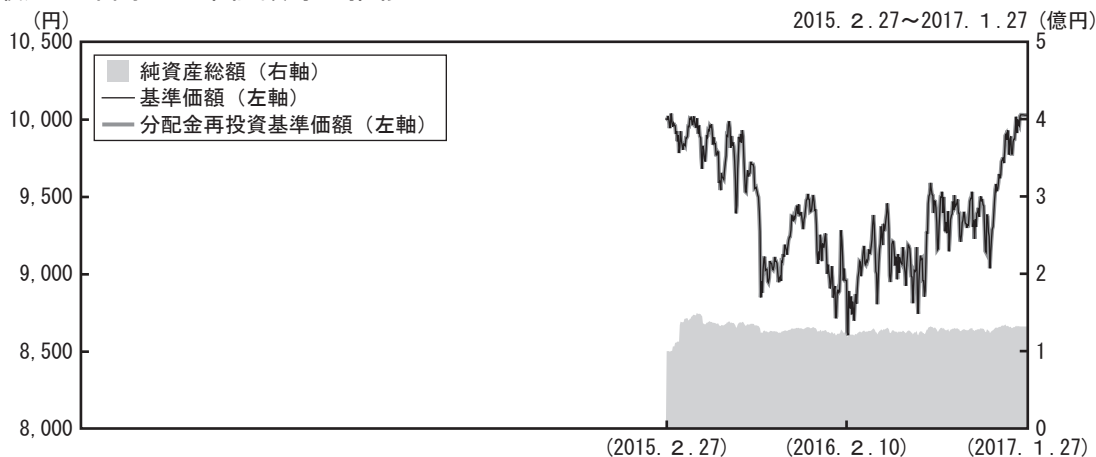
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

■最近5年間の基準価額等の推移



- ・分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス6）への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日		2015年2月27日 設定時	2016年2月10日 決算日	2017年1月27日 償還時
基準（償還）価額	(円)	10,000	8,957	10,024.71
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	△ 10.4	11.9
純資産総額	(百万円)	100	123	131

■投資環境

当期のアジア・ハイ・イールド債市場は上昇しました。

米国や欧州など主要国の国債利回りが低水準で推移する中、アジア・ハイ・イールド債市場は期初から堅調に推移しました。11月の米国大統領選挙では、予想外にトランプ氏が勝利し、同氏の掲げる財政刺激策への期待やインフレ観測が高まり、米国国債が急落する中、アジア・ハイ・イールド債市場も急落する展開となりました。1月に入ると、アジア・ハイ・イールド債市場への旺盛な投資需要を背景に再び上昇基調へと転じ、前期末比では上昇して期を終えました。

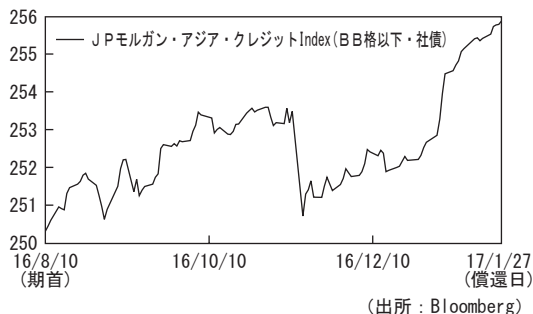
新興国の為替市場は概ね円に対して堅調に推移しました。

8月から10月末にかけては、概ね横ばい圏で方向感に欠ける動きとなりました。

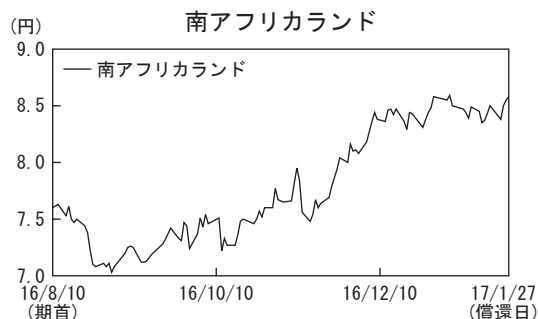
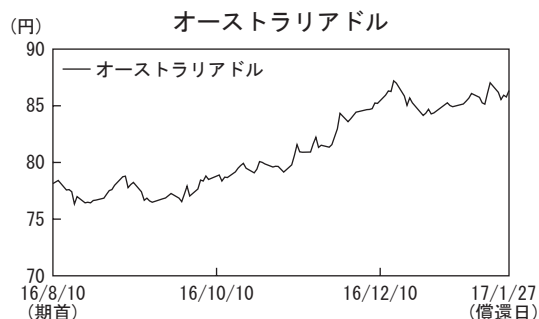
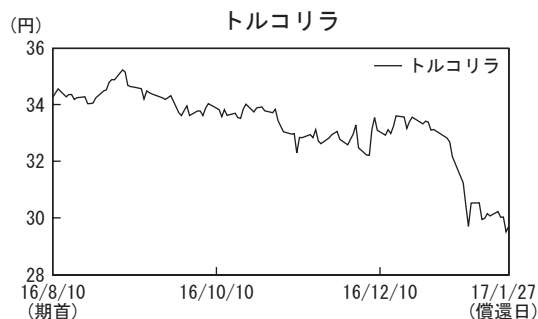
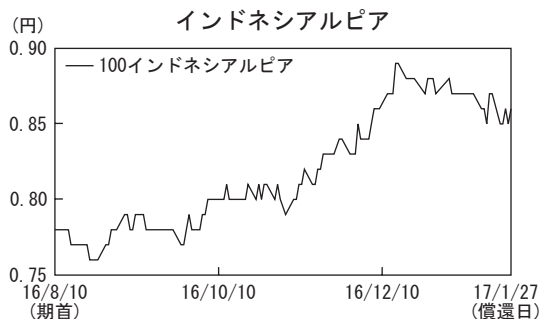
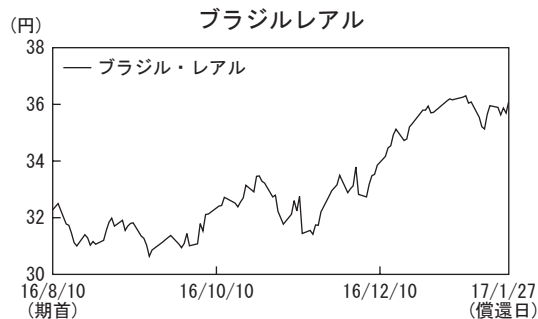
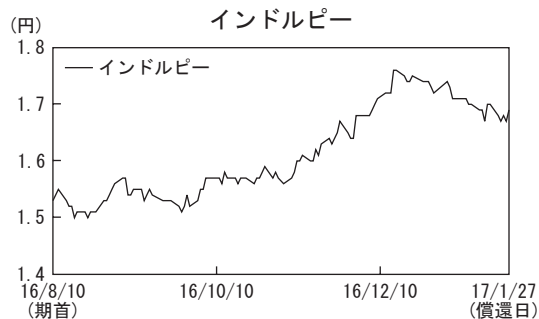
その後、11月上旬に米国大統領選でトランプ氏が勝利し、米国金利が大幅に上昇したことから、ドル高が急速に進み、新興国通貨と円がともに売られる展開となりました。円は2016年の年初以降大幅に買われていた反動から特に下落幅が大きくなり、対円では新興国通貨高が進みました。

通期では、対象となる10通貨のうち、トルコリラ、メキシコペソ以外は、いずれも対円で上昇しました。

市況の推移

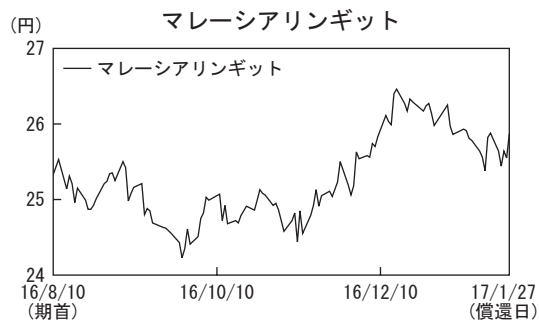
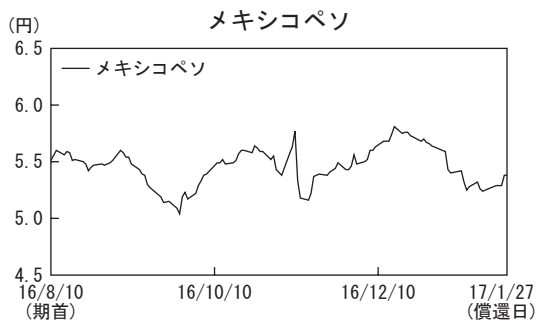
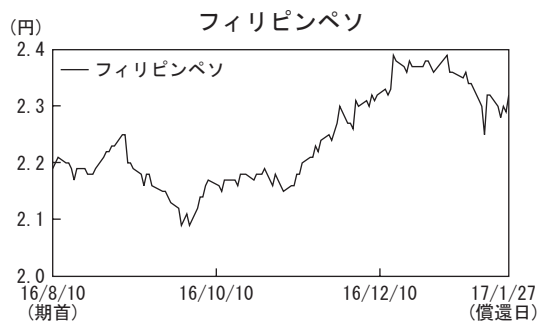
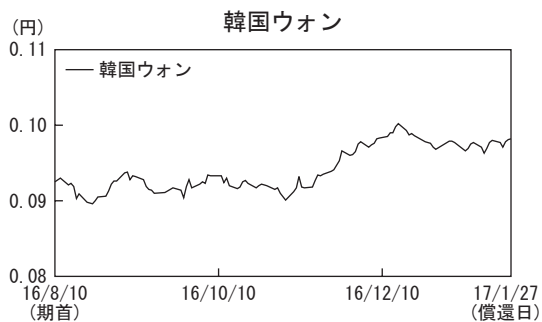


参考為替レートの推移（対円）



(出所：Bloombergおよび投資信託協会)

(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。



(出所：Bloombergおよび投資信託協会)

(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

■当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス6）」の投資比率を高位に維持した後、2017年1月16日に全売却しました。

（ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス6））（2016年8月11日～2017年1月16日）

アジア・ハイ・イールド債券利回りが上昇（価格は下落）した一方、クーポン収入等が貢献し、債券部分はプラスに寄与しました。

通貨選択については、各通貨の騰落率、利回りやオプションプレミアムの推移、各国の経済状況や政治状況等を勘案して行いました。

8月末はブラジルレアルとオーストラリアドル、9月末は南アフリカランドと韓国ウォン、10月末はブラジルレアルとインドネシアルピア、11月末はオーストラリアドルと南アフリカランド、12月末は引き続きオーストラリアドルと南アフリカランドの通貨をそれぞれ選択しました。

（マネープールマザーファンド）（2016年8月11日～2017年1月16日）

安全性、流動性の高い残存期間1年未満の公社債を中心に運用を行いました。

残存期間を1年未満のプラス利回りの公社債で運用することで、ポートフォリオ全体の利回りをプラスに維持しました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス6）の投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、分配を行いませんでした。

<分配原資の内訳>

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
	2016年8月11日 ～2016年9月12日	2016年9月13日 ～2016年10月11日	2016年10月12日 ～2016年11月10日	2016年11月11日 ～2016年12月12日	2016年12月13日 ～2017年1月10日
当期分配金	－	－	－	－	－
（対基準価額比率）	－%	－%	－%	－%	－%
当期の収益	－	－	－	－	－
当期の収益以外	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	2,200	2,288	2,373	2,374	2,374

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

※設定来の運用経過については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

<償還を迎えて>

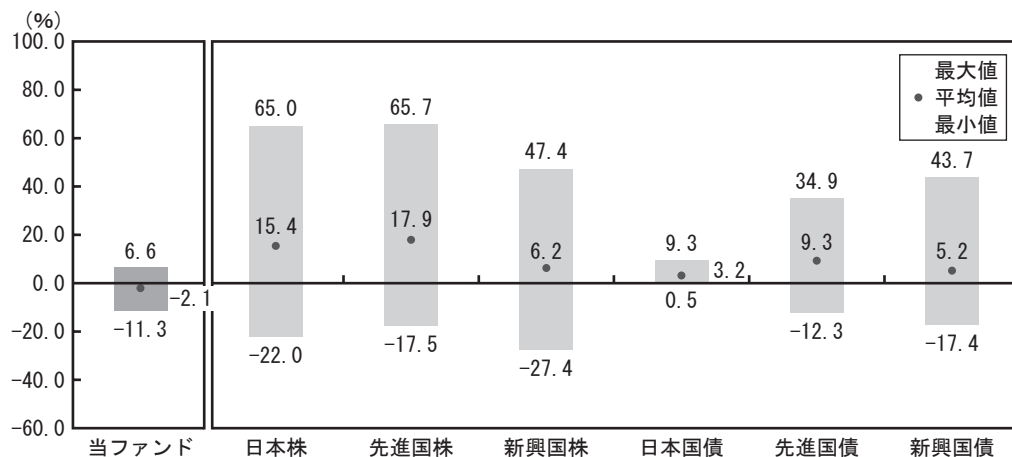
当ファンドは、2017年1月27日をもちまして信託期間を終了し、繰上償還とさせていただきますこととなりました。受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

■当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2015年2月27日から2017年1月27日まで（当初、2021年8月10日まで）	
運用方針	インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。	
主要投資対象	アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型） 通貨セレクト・プレミアムコース	投資信託証券
	ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス6）	日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）
	マネーパールマザーファンド	わが国の公社債等
運用方法	<p>①日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。</p> <p>②原則、相対的に流動性、金利水準が高い通貨を選択し、当該通貨を通じた為替取引を行う「通貨セレクト戦略」を活用し、プレミアム収入（金利差相当分の収益）の獲得を目指します。</p> <p>③「通貨オプション・プレミアム（カバードコール）戦略」の活用により、オプションのプレミアム収入の獲得を目指します。</p>	
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>	

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

※当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



期間：当ファンド 2016年2月～2016年12月
 代表的な資産クラス 2012年1月～2016年12月

* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

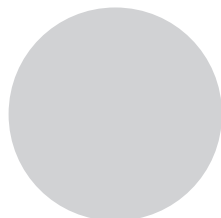
当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

○組入ファンド

償還時における組入ファンドはありません。

○資産別配分



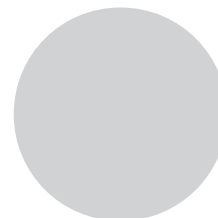
コール・ローン等
100.0%

○国別配分



日本
100.0%

○通貨別配分



日本円
100.0%

(注) 比率は償還時における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

項目	第18期末	第19期末	第20期末	第21期末	第22期末	償還時
	2016年9月12日	2016年10月11日	2016年11月10日	2016年12月12日	2017年1月10日	2017年1月27日
純資産総額	128,349,953円	130,020,257円	126,443,286円	133,752,465円	132,704,002円	131,874,934円
受益権総口数	136,649,496口	136,425,915口	136,391,514口	136,611,491口	132,729,313口	131,549,850口
1万口当たり基準（償還）価額	9,393円	9,530円	9,271円	9,791円	9,998円	10,024円71銭

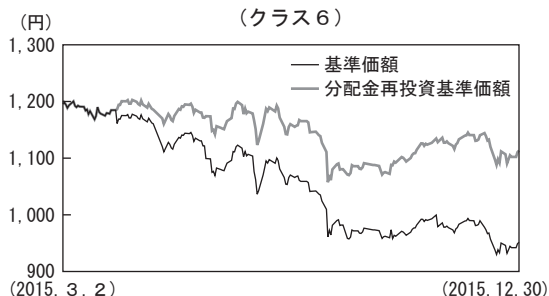
※当作成期間（第18期～最終期）中における追加設定元本額は430,872円、同解約元本額は5,768,795円です。

■組入上位ファンドの概要

※組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過および全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド>

○基準価額の推移



- ・基準価額は、アジア・ハイ・イールド債券ファンド（毎月分配型） 通貨セレクト・プレミアムコースの基準価額算出に用いた価額（算出日の前日（海外）の価額）を表示しています。
- ・分配金再投資基準価額は、2015年3月2日の基準価額に合わせて指数化しています。

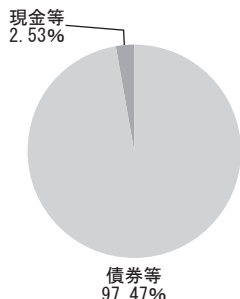
○組入上位10銘柄

	銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	比率
1	LOGAN PROPERTY HOLDINGS 9 3/4% Due 8/12/2017 JD8	中国	9.750%	2017/12/8	4.10%
2	SUNAC CHINA HOLDINGS LTD 12 1/2% Due 16/10/2017 A016	中国	12.500%	2017/10/16	3.85%
3	COUNTRY GARDEN HLDG CO 7 1/2% Due 9/3/2020 MS9	中国	7.500%	2020/3/9	3.56%
4	CHINA SCE PROPERTY HOLDINGS 11 1/2% Due 14/11/2017 MN14	中国	11.500%	2017/11/14	3.41%
5	WEST CHINA CEMENT LTD 6 1/2% Due 11/9/2019 MS11	中国	6.500%	2019/9/11	3.29%
6	ROYAL CAPITAL BV 6 1/4% Due 29/5/2049 MN5	フィリピン	6.250%	2049/5/29	3.12%
7	KWG PROPERTY HOLDINGS LTD 13 1/4% Due 22/3/2017 MS22	中国	13.250%	2017/3/22	2.99%
8	WANDA PROPERTIES INTL CO 7 1/4% Due 29/1/2024 JJ29	中国	7.250%	2024/1/29	2.83%
9	LONGFOR PROPERTIES 6 7/8% Due 18/10/2019 A018	中国	6.875%	2019/10/18	2.73%
10	MODERNLAND OVERSEAS PTE 11% Due 25/10/2016 A025	インドネシア	11.000%	2016/10/25	2.51%
組入銘柄数				66銘柄	

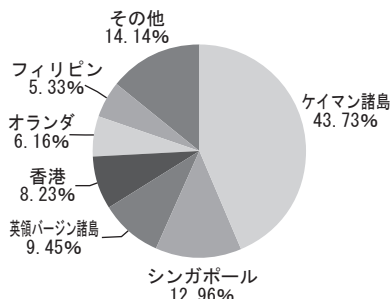
○1万口当たりの費用明細

当該期間（2015年1月1日～2015年12月31日）の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

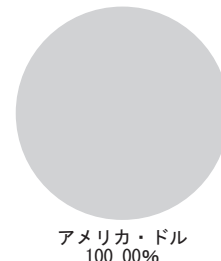
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



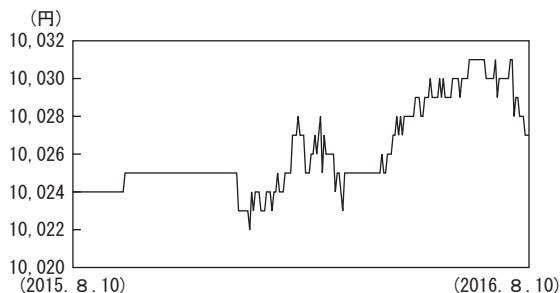
(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの決算日（2015年12月31日）現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。国別配分のその他には、現金等が含まれます。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別配分および通貨別配分は、ライオングローバルインベスターズが作成したデータを掲載しています。国別配分は、組入ファンドの財務諸表より、委託会社が翻訳し作成したものです。

<マネープールマザーファンド>

○基準価額の推移



○組入上位10銘柄

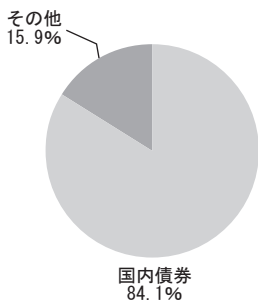
	銘柄名	債券種類	償還日	比率
1	526 東京電力	社債券	2017/5/31	6.5%
2	35 三井化学	社債券	2016/11/7	6.5%
3	90 丸紅	社債券	2017/7/26	6.5%
4	4 フジメディアHD	社債券	2016/12/20	6.5%
5	451 関西電力	社債券	2016/9/20	6.5%
6	300 北陸電力	社債券	2016/11/30	6.5%
7	425 九州電力	社債券	2017/2/24	6.5%
8	22 日新製鋼	社債券	2017/3/10	6.5%
9	6 ノルデア・バンク	社債券	2017/5/26	6.5%
10	355 中国電力	社債券	2016/8/25	6.5%
組入銘柄数			13銘柄	

○1万口当たりの費用明細

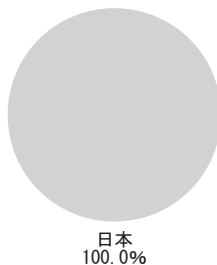
(2015年8月11日～2016年8月10日)

項目	
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2016年8月10日）現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPI に関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

J.P. Morgan Global EM Global Dividend Index（円ベース）

J.P. Morgan Global EM Global Dividend Indexは、J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。



損保ジャパン日本興亜
アセットマネジメント